

つばた

議会だより

No. 165

2023.4.5



3月会議

令和5年度予算可決 一般会計145億4100万円成立 2

委員会審議 チャイルドシート等購入補助金購入店の要件緩和など... 4

請願2件・陳情1件を審査 6

一般質問 8人が登壇 歩行に支障を来す歩道上の樹木伐採をなど ... 8

～第1回津幡かるた大会～

一般会計
当初予算

145億4100万円を可決（賛成多数）

特別・事業会計 124億1712万円（全員賛成）

※金額はすべて1万円未満を切り捨てて記載しています

津幡駅東口整備事業始まる



東口道路改良等事業費 R5年度分 4億301万円
東西自由通路等事業費 R5年度分 5億301万円

完成イメージ図

サンライフ津幡 長寿命化改修事業費

2億7100万円

【工事の内容】 屋根防水・外壁・トイレ・浴室・内装・体育室・空調の改修、照明器具LED化等



3月会議を6日から15日までの会議期間で開催した。
初日に、令和5年度一般会計・特別会計・事業会計予算、4年度補正予算、条例の制定・改正などを含む33件の議案と専決処分の承認1件が提出され、2日目に、

町政全般について8人が一般質問を行った。
議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決した。請願1件を採択、陳情1件と継続審査となっていた請願1件を不採択。意見書1件を可決した。

令和5年度 施政方針



町政運営はこれまでと同様に、子の時代、孫の時代のためのまちづくり、心豊かに今を暮らすためのまちづくり、この大きく2つの柱で推し進めていく。
津幡駅東口や住吉公園の整備、定住促進や交流人口の拡大に向けた事業などを引き続き進める。
また、子育て支援や教育環境の整備、防災・減災力の強化、各種福祉サービスといった暮らしに直結びつくり取り組みを行う。
これらの事業により、引き続き、元気で活気あふれるまちづくり、住んでよかったと実感できるまちづくりを目指す。

歳出145億4100万円

49億3757万円 33.9%

民生費 高齢者・障害者福祉、保育などに使われます。

22億7254万円 15.6%

土木費 道路・公園・河川の建設管理、都市整備などに使われます。

16億5212万円 11.3%

教育費 学校、文化、スポーツ振興の充実に使われます。

14億7215万円 10.1%

公債費 町の借入金返済に使われます。

14億12万円 9.6%

総務費 戸籍や選挙、徴税などに使われます。

9億6582万円 6.6%

衛生費 町民の健康増進、ごみ処理などに使われます。

6億2918万円 4.3%

農林水産業費 農地・農道・林道整備などに使われます。

4億9206万円 3.3%

消防費 消防・救急活動の運営や管理に使われます。

2億9575万円 2.0%

労働費 勤労者に対する金融支援などに使われます。

2億7324万円 1.8%

商工費 商工業や観光の振興に使われます。

1億4648万円 1.0%

議会費 議員報酬などの議会運営に使われます。

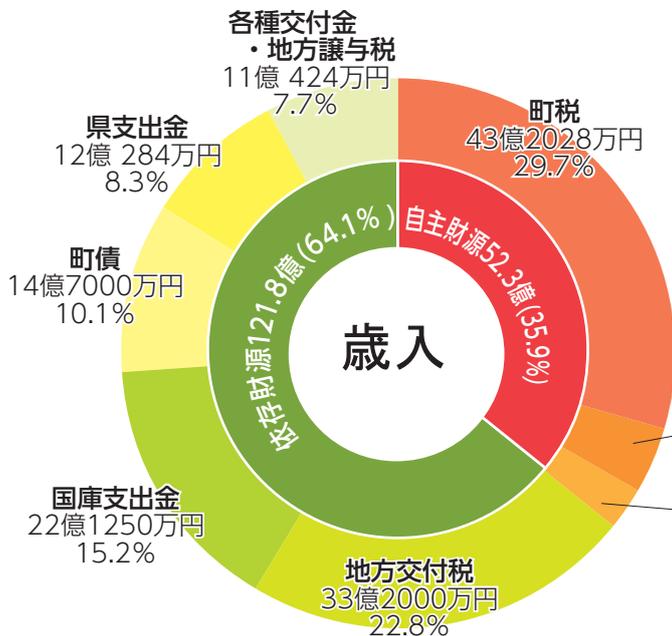
200万円 0.0%

予備費 予備費。

191万円 0.0%

災害復旧費 災害被害を復旧するために使われます。

歳入145億4100万円



●特別会計●

会計名	予算	増減率%
国民健康保険	34億8925万円	5.0
後期高齢者医療	4億6196万円	6.6
介護保険	26億4962万円	2.7
バス事業	1億6607万円	27.6
河合谷財産区	31万円	0.0

※金額はすべて1万円未満を切り捨てて記載

●事業会計●

会計名		予算	増減率%
病院	収益的収支	13億8860万円	5.4
	資本的収支	3980万円	▲80.0
簡易水道	収益的収支	486万円	3.5
	資本的収支	0万円	0.0
水道	収益的収支	7億8185万円	5.3
	資本的収支	4億4225万円	9.0
下水道	収益的収支	14億5986万円	5.2
	資本的収支	15億3264万円	19.3

※事業会計は支出額を計上

予算決算、総務産業建設、文教生活福祉の常任委員会と分科会で審議されたものについて、主なものを紹介します。

チャイルドシート等購入補助金

購入店の要件緩和

95万円

- 子育て支援課 -

Q 町外の店舗で購入した場合も対象となるか。

A 町内に購入可能店舗が減少したため要件を緩和するもので、町外での購入も対象となる。

Q ネット通販での購入は、安全基準を満たしていれば対象となるか。

A 安全基準を満たしていれば対象となる。



町営バスに

A-1活用型オンデマンドバス導入

6489万円

- 生活環境課 -

Q 町内全域での運行か。

A まずは、5路線で運行する。

Q 停留所の設置は。

A 現在の各停留所から半径200メートル以内に設置する。

新型コロナウイルスワクチン

4月以降の接種は

466万円

- 健康推進課 -

Q 予算額が少なくなかないか。

A 4月以降の接種事業が確定していないからである。

と秋の2回実施が基本となる予定であり、その他、国の方針が決定次第、希望者が接種できるよう準備を進める。

Q 今後の接種事業は。

A 65歳以上の高齢者に春

移住支援を拡充

定住促進事業費

1億5737万円

- 企画課 -

Q 空き家バンク利用の補助金対象となるのは、購入だけか。

A 購入だけでなく賃貸でも補助しており、賃貸の場合は月限度額1万円、2年間、購入の場合は限度額が50万円である。

Q 三世代ファミリー補助金10万円に、5万円加算される要件は。

A 新たに同居を始めるために新築等をした場合のほか、2キロメートル以上離れていた世帯が、50メートル以内に転居した場合を対象としている。

自衛官募集事務費

5万円

- 総務課 -

Q 自衛隊入隊の人数は。また、町の役割は。

A 例年は2、3人だが、昨年は6人だった。希望者は直接自衛隊に応募しており、町ではポスター掲示等の広報のみである。



読んでもらえる

議会だよりを目指して

158万円

- 議会事務局 -

Q 4年度から全ページフルカラー化となったが、印刷費の予算は増えていないのか。

A 印刷製本以外の作業をすべて委員会で行うことにより経費を抑えることで、以前と同水準の予算とした。

Q フルカラー化継続の理由は。

A 広報委員会から継続の要請があった。町民からとても見やすくなったとの声も聞く。



洪水ハザードマップ

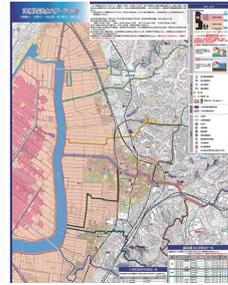
水防対策費

742万円

- 総務課 -

Q 洪水ハザードマップに変更があるのか。

A これまでのデータは津幡川だけだったが、新たに大海川、材木川、能瀬川を追加する。



防火水槽は足りているか

防火水槽設置事業費

1521万円

- 消防本部 -

Q 町内の防火水槽設置計画は230基と聞いているが、現状は210基にとどまっている。不足しているのではないか。

A 用地取得等の問題もあるが、順調に設置されており、現時点での支障はない。



運動機能向上教室を

アザレアで開催

141万円

- 福祉課 -

Q 対象と指導者は。

A 65歳以上の高齢者が対象となり、株式会社エイムに指導を委託する。

Q 事業目的は。

A 運動習慣のきっかけづくりと、身体機能の改善である。アザレアの会員以外も申し込みできる。

身近な医療機関を目指して

Q MRIの導入は。

A 現状では、病棟内に設置のためのスペース確保が困難であるが、設置に向け検討する。

Q 人工透析の患者は受け入れられないのか。

A 現在のところ考えていないが、将来的には救急搬送など緊急の透析に対応できるようにしたい。



▲診察案内表示システム

町内



津幡町福祉教育プラザ

地域福祉の推進と教育の充実が期待される

視察



町道庄74号線

庄へ9番1地先～庄へ9番7地先まで

▶▶ 請願2件・陳情1件を審査 ◀◀

3月会議で審査された請願と陳情の結果をお知らせします。
請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。
請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

採択

認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書の提出を求める請願

◎請願者 公明党津幡支部 津幡東地区員 関沢 隆

紹介議員 道下 政博

(全員賛成)

委員会の主な意見

認知症の人たちへの共感的な対応を求めている、おおむね認められる要望である。

不採択となった陳情

下 採択された1件の請願は意見書を厚生労働大臣ほか関係機関に送付しました

日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情

◎陳情者 コソドラ 代表 与那城千恵美

(賛成少数)

委員会の主な意見

国で普天間基地に関する問題は進んでいるのに、一地方の津幡町で異を唱えるのは難しいのではないか。

賛成 討論

国がどんな判断をしようが、親として地域の人間としてすべきことはちゃんとしてほしいと言わなければならない。そういう訴えを私たちはきちんと受け止めるべきである。

塩谷 道子議員

不採択となった請願 (継続審査)

知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書の提出を求める請願

◎請願者 公明党津幡支部 津幡地区員 池田 邦三

紹介議員 道下 政博

(賛成少数)

反対 討論

知的障がい者の定義はないが、療育手帳の交付基準はある。
障害を併存するケースもあり、個々の判定を考へても、知的、精神障がいの定義には慎重であるべき。

森川 章議員

【議案に対する討論】

議案第3号

令和5年度津幡町一般会計予算

自衛官募集事務費について、日本が軍備を強める限り、自衛隊員の命は守ることができないので、認められない。

体験型観光交流公園費について、事業の基本構想に反対しており、ほかに税金を使うべきことがあると考えるため、認められない。

塩谷 道子議員

反対 討論



3月会議 採決状況一覧

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない。「－」

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結 果 (賛成：反対)
議 案	小町 実	森川 章	竹内 竜也	八十嶋孝司	西村 稔	荒井 克	森山 時夫	角井外喜雄	酒井 義光	塩谷 道子	多賀 吉一	向 正則	道下 政博	谷口 正一	欠 番	河上 孝夫	
選任第1号～第2号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選任 (14:0)
選挙第1号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選挙 (14:0)
議案第3号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決 (13:1)
議案第4号～第12号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (14:0)
議案第13号～第19号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (14:0)
議案第20号～第35号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (14:0)
承認第1号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認 (14:0)
請願第1号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 (14:0)
陳情第1号	×	○	○	×	×	×	－	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択 (3:11)
請願第7号(継続審査)	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択 (1:13)
議会議案第1号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (14:0)

選任2件 選挙1件 議案33件 承認1件 請願2件 陳情1件 議会議案1件

選任・選挙

- 選任1 議会運営委員会委員の選任 向氏を選任
- 選任2 町議会石川県森林公園活性化対策特別委員会委員の選任 向氏を選任
- 選挙1 河北郡市広域事務組合議会議員の選挙 指名推選で道下氏が当選

当初予算

- 議案3 令和5年度一般会計予算 (145億4100万円) [2～5ページに紹介](#)
- 議案4 令和5年度国民健康保険特別会計予算 (34億8925万円)
- 議案5 令和5年度後期高齢者医療特別会計予算 (4億6196万円)
- 議案6 令和5年度介護保険特別会計予算 (26億4962万円)
- 議案7 令和5年度バス事業特別会計予算 (1億6607万円)
- 議案8 令和5年度河合谷財産区特別会計予算 (31万円)
- 議案9～12 令和5年度病院事業会計予算(他3事業会計予算) [3ページに紹介](#)

補正予算

- 議案13 令和4年度一般会計補正予算 決算に向けた調整 (4995万円の減)
- 議案14～19 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(他2特別会計補正予算、3事業会計補正予算)

条例改正

- 議案20 町職員の分限に関する手続きおよび効果に関する条例の一部を改正する条例
- 議案21 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 看護師等および保育士等の処遇改善を図るため
- 議案22 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 上位法の一部改正によるもの
- 議案23 人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例 上位法の一部改正によるもの
- 議案24 町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例 書面等の申請を、電子申請に代えることができるなど
- 議案25 水道使用条例の一部を改正する条例 上位法の改正に伴い、給水工事の条件を改正するほか
- 議案26 農業集落排水施設条例の一部を改正する条例 上位法の改正に伴い、排水設備工事の条件を改正する
- 議案27 国民健康保険条例の一部を改正する条例 出産育児一時金を488,000円に引き上げる
- 議案28 児童福祉施設条例の一部を改正する条例 名称および位置から町立認定こども園太白台保育園を削除
- 議案29 特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例 親権者の子に対する懲戒権の削除ほか

辺地整備計画・町道認定・補正予算

- 議案30～34 辺地に係る総合整備計画の変更
- 議案35 町道路線の認定 町道庄74号線 [5ページに紹介](#)
- 承認1 令和4年度一般会計補正予算(専決処分) 道路除雪費を追加する(5200万円の増)

請願・陳情

- 請願1 認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書の提出を求める請願 [6ページに紹介](#)
- 陳情1 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保証を求める陳情
- 請願7(継続審査) 知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書の提出を求める請願

議会議案

- 議会議案1 認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書

1月会議 採決状況一覧

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わらない。「－」

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結 果 (賛成：反対)
議 案	小町 実	森川 章	竹内 竜也	八十嶋孝司	西村 稔	荒井 克	森山 時夫	角井外喜雄	酒井 義光	塩谷 道子	多賀 吉一	向 正則	道下 政博	谷口 正一	洲崎 孝夫	河上 孝夫	
議案第1号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決 (14:0)
議案第2号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決 (14:0)

議案2件

- 議案1 令和4年度一般会計補正予算 出産・子育て応援交付金事業ほか(3億2578万円の増)
- 議案2 令和4年度下水道事業会計補正予算 マンホール耐震化工事(3190万円の増)

つばた議会だより No.165



歩行に支障を来す 歩道上の樹木伐採を

八十嶋 孝司 議員

Q 県は道路や電線沿いの私有林で倒れそうな木の事前伐採を奥能登から始めると聞く。

A 町内では通学路や歩道を山林からの木々が覆い、支障を来す箇所について、今後事前伐採を適用し、対応できないか。

Q 県では、倒木による道路寸断の被害を未然に防止するために、令和5年3月、奥能登4市町で試験的に公共インフラに隣接する私有地において、事前伐採に着手すると聞くが、現時点で詳細は不明だ。今後の事前伐採事業の運用や補助金制度など県の情報を注視する。



Q 1月下旬の寒波で水道管の破裂、漏水の被害が報告されている。漏水した際の水道料金減免制度の拡充と啓発をせよ。

A 47件の漏水を発見し、直ちに止水した。

Q 発見が困難な場合の漏水について、直近1年間の平均水量の2倍を超えた水量の半分かかる料金を減免することとしているが、今回は、幸いにも特例的な措置を行うまでには至らなかった。

Q マイナンバーカードの進捗は。
A 2月末時点の住民基本台帳人口に対し、カード普及率は68・3%である。

Q 医療機関でマイナンバーカードの読み取り機の普及の状況は。

A 町内31医療機関のうち14でオンライン資格システムを導入しており、マイナンバーカードを保険証として利用できる。



AIチャットボットとの連携は

小町 実 議員

Q LINEによる情報発信は、多くの町民に浸透している。

A 新しい機能では、入力した質問に対しAIチャットボットが自動で回答してくれる。

Q 災害発生時などのLINE情報はもちろんだが、マップなども表示すべきだ。

A 現在、費用対効果の観点からAIを使わないチャットボットの実装を検討している。まずは導入の際に必要な想定問答を準備し、ホームページ上に公開したいと考えている。

Q マップ表示に関しては、緊急時という限られた時間の中で新たな工程を追加することは大変難しい。

Q 県内幾つかの自治体では、空き家や空き店舗の活用支援制度を実施しているところがあるが、当町でも企業や起業家の支援に取り組め。

A 企業や起業家を支援する、産業創出支援補助金がある。

Q 融資に対する補助として限度額が50万円、家賃に対しても月限度額5万円で2年間、最大で170万円を補助している。また、住宅取得奨励金など、移住定住政策でも支援している。

Q 水道管の破裂による漏水を避けるために、空き家調査や予防対策などの事前広報活動は。

A 空き家と思われる家屋についてはこれまで同様、水道の休止を勧める記事を町広報に掲載する。



こんにちは！ ぼくの名前は「しつぎおとふ」です。自治体によく寄せられる質問についてお答えいたします。「マイナンバー」や「マイナポイント」についてもお答えできるようになりました。検索してみてください。初めての人は「ボットの使い方について教えてください」を見てね。

ボットの使い方について教えて



介護保険について

塩谷 道子 議員

Q 独自で町民にアンケートを実施した結果、年金生活者からは、生活が苦しくなった、介護施設利用料は高額なところが多く、国の支援をお願いしたいとの要望が多かった。

A 国民年金の人でも入れるような介護施設を。

Q 町地域包括支援センターでは、介護や支援が必要な状態に就いて専門の職員が対応している。不安を感じるようになってきたらお気軽にご相談を。

Q あがたの里の申し込み待機状況は。

A 本年2月現在で、申込者数は29名とのこと。

Q 介護施設の人手不足問題を、どのように補っているのか。

A ハローワークや派遣社員、外国人労働者等で補っていると聞く。

Q 国は子ども予算拡充に取り組みようとしている。町立中学校の給食費無償化は、7800万円ほどあればできると考えられるので、給食費を無償にすべきだ。

A 経済的な理由により、就学が困難と認められる中学生の保護者に支給している就学援助費を、5年度からは年間6万8000円とする予定であり、無償化は考えていない。

Q 75歳以上の方にタクシー券を。

A 助成対象者は、公平性の観点から年齢を75歳以上と限定するのではなく、身体状態に一定の基準が必要であるとの考えに変わりはない。



子どものウェルビーイングと子育て支援について

竹内 竜也 議員

Q こどものウェルビーイングを高めるため、子どもを主体として捉えた子育てへの支援を。

A 引き続き、町の未来を担う子どもへの投資として、保護者の子育て支援の拡充を図るとともに、主体的に行動できる子を社会全体で育てる施策の推進に取り組む。

※ウェルビーイングとは、心身が健康で、社会的にも満たされた状態のこと。

Q 学校給食費の無償化について、どのように考えているのか。

A 現時点ではまず、多子世帯や就学援助世帯などの経済的な負担が大きい家庭への支援を、優先的に行う。

Q 食育にも関連するオーガニック給食を推進する考えは。

A 今後も引き続き、給食食材のオーガニック比率の向上を推進したい。

Q 多様性を認め合う包摂的な社会をどのように捉えているか。

A 性別や年齢などに関わらず、すべての人が互いにさまざまな違いを認め合い、尊重し合う共生社会の実現は非常に重要なことであると認識している。

Q パートナーシップ宣誓制度を導入すべきではないか。

A 性的マイノリティーのカップルが互いをパートナーとして誓い合ったことを自治体が証明するパートナーシップ宣誓制度導入に向け、9月をめどに、準備の指示をした。

Q 自治会・町内会の持続可能な運営のための効果的な支援は。

A 地域づくりについて調査研究を進めるため、3年1月に企画課に地域づくり推進係を設置した。



体験型観光交流公園の進捗は
西村 稔 議員

Q 平成25年に決定した体験型観光交流公園計画は、令和13年の完成予定まで、あと8年である。年次ごとの進捗と具体的な工事計画と予算は。

A 整備スケジュールは1期目は平成27年度から令和元年度、2期目は3年度から7年度、3期目は9年度から13年度を予定しており、1期目、9億3000万円、2期目、6億7000万円、3期目、3億3000万円、全体の事業費は19億3000万円を予定している。本年度は公園全体の基本設計業務を発注しており、現地周辺を詳細に調査し、施工計画が整理される見込みである。



▲完成予想図



▲現況写真



次世代への投資について
森川 章 議員

Q 近年、出生数は80万人を割った。根本的な改革として、次世代への徹底的な投資を行い、子どもを生み育てやすい環境に向けた施策は。

A 子育て支援施策等に重点を置き、これからの津幡町を背負って立つ子どもたちが学び育ち、郷土を愛する心を育み、安心して暮していける環境づくりに傾注したい。

Q こども基本法が成立し、5年にこども家庭庁が設置される。子どもの権利条例制定に向けた考えと、子ども議会を開催せよ。

A 条例制定に向けての前提として、子どもを真ん中において視点を社会全体で育むことと考える。子どもは社会の子を前提とし、まず、親が一義的に養育義務を果たしそれを社会全体で支援するという意識を目指したい。また、子どもの参画を含め子ども議会の実施も検討したい。

Q 現在、公民館は教育部局の所管となっている。今後、多岐にわたる地域機能の拠点として、総務・教育・福祉部局の部課を横断した連携の拠点や、公民館主事のさらなる配置や連携を図る施策は。

A 4年7月に総務・教育・福祉部門を横断した庁内組織である公民館のコミュニティセンター化検討準備委員会を立ち上げた。どのような方法が地域活動の推進により適しているか議論を深め、地域住民にとって最良となるような結論を出す。

また、館長、主事の役割や配置体制なども、一連の検討の中で包括的に見直したい。



▲津幡地域交流センター



「書かない」「行かない」 窓口の推進を

道下 政博 議員

Q 職員が要件を聞き、申請書を作成し、住民票などが取得できる「書かない」窓口。また、スマホでできる行政手続き「行かない」窓口の進捗状況はどうか。

A 「書かない」窓口として、おみやみワンストップ窓口を現在設置している。「行かない」窓口としては、1136種類ある申請書のうち257種類について電子申請が可能となっている。

電子申請サービスには136種類の手続きが登録されており、パソコンやスマホから24時間365日申請手続きが可能となっている。



Q 4年3月会議でも制度の導入を提案したが、性的マイノリ

A ティーへの差別意識があってはならないとの考え方の大切さが国会でも議論され、急速に理解が進んだと思う。パートナーシップ宣誓制度導入を再度提案する。

Q 互いにパートナーとして誓い合ったことを自治体が認め証明するパートナーシップ宣誓制度は性的マイノリティーの方々から生きづらさを解消し、暮らしやすさにつながるものであると考えている。9月をめどに導入を目指したい。

Q 高齢者のスマホ活用のさらなる支援を。

A 5年度も公民館にてスマホ活用講習会の開催を予定している。

Q ボランティアポイント・健康ポイントのさらなる活用を。

A 健康的な生活ができるよう事業の周知を図る。



公立河北中央病院の 今後の在り方は

酒井 義光 議員

Q 病院は平成4年に建設され老朽化が進んでいる。現在の場所が狭く建て替えが難しいと思う。郊外での新病院の建設予定は。

A 新河北中央病院に向けた基本構想、建設場所、整備スケジュールなどの重要事項について、(仮称)病院建設検討委員会などを立ち上げ、検討したい。

Q 電気料金が急騰しており、今後さらに値上げが予想される。不便をかけない範囲での、電気料金の低減に向けた対応は。

A 職員一同が節電の意識を持ちながら取り組んでいる。また、小中学校や公民館などで、まだLED化されていない施設は早期に高効率な照明に更新する必要があると考える。

また、町民や利用者が不便と感じることがない節電対策を継続しながら電気料金の抑制に取り組む。

Q 大雪時の倒木被害を未然に防ぐため樹木の事前伐採を図れ。

A 重要なインフラの脅威となる危険樹木の事前伐採の取り組みも、住民の安全・安心のためには、重要な業務と考える。事前伐採事業については、運用や補助制度など、県よりしっかりと説明を受けた上で区長などからも意見を聞きながら実施の適否を検討する。



シグナス少年少女合唱団



事務局 井上 功一
いとうえ こういち

今後いろいろな場面で歌声をお届けしたいと思えます。新しい団員も随時募集しています。歌が好きの子、一緒に歌ってみたい子はぜひ一緒に歌いましょう！

平成21年に発足し、町の小学校2年生から中学生まで、現在30名が参加しています。町にゆかりのある4名の先生にご指導いただき、合唱を通してより良い仲間づくりと心豊かな青少年の育成を目指して、シグナスで月2回の練習を重ねています。

シグナスホールで歌ったり、地域の行事などに参加して歌声を届け、学校や学年の枠を越えて楽しく元気に活動しています。

《ミニインタビュー》

Q これからどんな町になってほしいですか？

A 文化芸術やスポーツに関心が高く、チャレンジ精神と思いやりの心で活気づいている町。

Q 津幡町の好きなスポーツはどこですか？

A 山育ちなので山がいいです。倶利伽羅さんの八重桜まつりは特に好きです。

◆活動場所と時間

文化会館シグナス
毎月第2・4土曜日
9時～10時30分

◆連絡先

☎288-8526
(事務局 シグナス)

ザ・ロード・オブ議会議会改革

二元代表制の一翼を担う議会として、多様化し広範囲にわたる政策課題に真摯に向き合い、住民の負託に応えていかなければならない。今任期も議会の活性化に向けて多くの時間を費やし検討を重ねてきたが、積み残した課題も多々ある。

継続して取り組むべき優先課題として、議会に期待される役割として最も重要な議決権に関して地方自治法で定める議決事項を追加することや、町政課題に主体的、能動的に取り組むための政策提言プロジェクトチームの創設、町民と意思疎通を図り、いただいた提言を議会運営に反映させるための議会モニター制度の導入などがあげられる。

これらのような意思決定機関としての機能強化を目指すもののほか、子どもの権利の保障を図り、幸せに暮らせるまちづくりのための「子ども基本条例」を制定することについても、継続して検討していかねければならない。

来期も町民福祉の向上と将来的な町勢の発展に寄与するために、不断の改革に取り組む。

(議会改革検討特別委員会)

報告

◎2月22日 視察研修

県森林公園活性化対策

特別委員会

5月の開園50周年を契機に、リニューアルと魅力アップ整備が図られており、現地で進捗状況を確認した。



議会傍聴のお知らせ

6月会議は、6月5日(月)午後1時30分からの予定です。

■受付日時

提案理由の説明
6月5日(月) 午後0時30分、
町政一般質問
6月6日(火) 午前9時、

■受付場所

役場庁舎4階 傍聴受付

◎日程は変更になる可能性がありますので、詳しくは町議会ホームページをご覧ください。

お問い合わせください。
(問合先) 議会事務局
TEL 288-6410

県民みどりの祭典で

ゴーヤと花苗

無料配布

4月29日(土・祝)に県森林公園緑化の広場で開催予定の「県民みどりの祭典」で、町議会県森林公園活性化対策特別委員会では、ゴーヤと花苗を10時30分から配布しますので、ご来場ください。

※今後の状況により中止の場合は、ホームページでご案内いたします。

表紙の題字は

中条小学校6年
松岡佑都さんの作品です。



中条小学校のよいところは、全員が気持ちのよいあいさつを心がけているところです。「中条っ子全員が思いやりを持って支えあおう」を児童会目標として、みんなで協力して頑張っています。

計報



洲崎正昭議員が令和5年2月2日にご逝去されました。平成33年4月に初当選され、8期31年10カ月の間、町政の発展のためにご尽力されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

